

055

## 台風で被災した屋根にブルーシート展張を行う事業者の仲介

取組主体

ユニオンテック株式会社

従業員数

140人

想定災害

豪雨等

実施地域

千葉県

- 建設工事を中小事業者が発注できる工事受発注システムを活用して専門工事職人を手配し、令和元年の台風で被災した千葉県で、屋根へのブルーシート展張の実施を支援した。

### 1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

#### 全国から専門工事職人を手配し、千葉県富津市に派遣

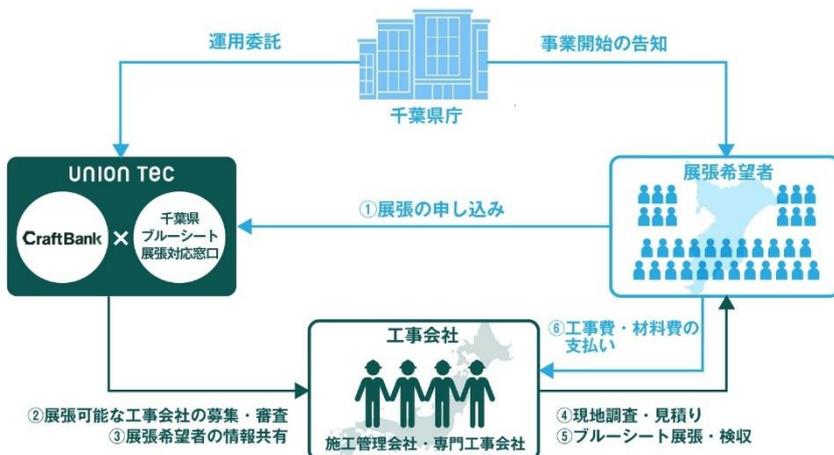
- 施工管理及び専門工事を手掛けるユニオンテック株式会社は、令和元年10月から12月にかけて、台風15号及び19号により被災した家屋所有者に対し、同社が運営するシステムを活用して、全国の施工管理会社及び専門工事会社を手配し、屋根へのブルーシートの展張の実施を支援した。
- 同社が事業展開するシステム（クラフトバンク（旧サステイナデータベース））は、建設工事を工事会社に直接依頼できる、建設業界特化型の工事マッチングプラットフォームである。建設工事の受発注は多重請負構造の下で、発注者と工事会社間に多くの業者が介在するケースが多いが、同システムを利用することで、発注主は、日本全国1万5千社以上のシステム登録会社から希望に合った工事会社を探して直接工事を依頼することができる。一方、工事会社にとっても、繁忙期・閑散期に左右されず、安定的な事業成長を実現することができる。
- 令和元年の台風15号による暴風雨で被害を受けた被災地に対して何かできることはないかと考えていた同社は、強風により屋根が損壊した家屋が多数存在しており、被災直後よりブルーシートを用いた応急施工が実施されていることを知った。高所の屋根上での作業は足場も悪く危険を伴うため、高所作業の経験を持たない者が実施した結果、転落による事故が発生し、死亡する例もあった。同社は、一時的に職人需要が急騰する災害復旧においてこそ、同プラットフォームがその存在意義を果たすことができるのではないかと考え、すぐさま千葉県富津市でブルーシート展張の実施を支援するボランティアを開始した。



職人によるブルーシート展張の様子

#### ボランティアとして始めた取組が千葉県担当者の目に留まった

- 高所作業の知識と経験を有している職人を中心に、全国の協力関係にある事業者から協力を募ったところ、北海道から兵庫県まで約30人の職人が被災地に集結した。また、同社の屋根工事職人経験を持つ社員4名を現場監督者として派遣し、専門知識提供等を行った。
- 当初、県外から派遣された工事会社の職人の滞在費及び交通



ブルーシート展張事業の仕組み

## 国土強靱化

費は同社が負担したが、同活動が千葉県の担当者の目に留まり、千葉県が県の事業として県内全域でこの仕組みを導入することとなったことで、工事会社の職人の滞在費及び交通費は県が負担することとなった（施工にかかる工事費・材料費は住民の自己負担）。

- 支援事業開始前に千葉県が見込んでいた必要展張件数 689 件に対して、令和元年 12 月末時点で、約 3 割にあたる 203 件を同事業で実施した。

### 2 取組の平時における利活用の状況や効果

- 同社は、平時より、同システムに登録されている工事会社の対応可能工種や職人数といった情報をデータベース化して保有していたため、被災家屋の規模に応じた、施工管理会社や専門工事会社の手配が可能となった。

### 3 現状の課題・今後の展開等

- 今回の取組では、ブルーシート展張対応窓口を含む事務局業務を同社が担ったが、例えば「世帯主以外の希望者からの申込を受け入れて良いのか」等の判断まで同社に求められることがあり、契約時には想定していなかった責任範囲の明確化が必要となった。
- 同事業の申込後、現地調査までの期間に「自衛隊が張ってくれたので不要」というキャンセルが十数件発生するなど、自治体との連携が不足している故の問題も生じた。同社は、応急施工ニーズの把握にあたっては、国や自治体が既に構築している被害情報収集の体制を利用することで、スピーディかつ正確な状況把握ができるのではないかと考えており、今後、同様の取組を行う際は、自治体との情報連携体制の強化を進める必要があると感じている。

### 4 周囲の声

- たとえ一時的ではあっても、被災者を助けることができたことに対して社会的意義を感じている。（事業に参加した施工業者）

#### 担当者の声

- 災害時の職人不足は、今後ますます顕在化する社会課題です。ブルーシート展張だけでは被災家屋の復旧は完了しておらず、屋根補修工事はまだ始まったばかりです。当事業の事例が、一部損壊・半壊の被災家屋復旧における官民連携の加速に寄与できれば幸いです。
- 自宅の中に雨水が入ってくる状態で長い期間を過ごしているにもかかわらず、「次に強風が吹いて隣家に屋根が飛んだら迷惑をかけてしまう」と、自分のことよりも、周辺住民のことを心配する声が多数聞かれました。そのような被災者の思いに触れることで、いち早い復旧に向けて全力で取り組み続けることができました。一日も早い全家屋の復旧完了を祈っています。

#### 問合せ先

ユニオンテック株式会社 法人番号：1013401004385 E-Mail：info@union-tec.jp